

chosekai
Since 1946, Saga

きりん新聞

KIRIN NEWSPAPER

令和3年 6月号

発行 医療法人 長晴会

佐賀市久保泉町大字上和泉2201
TEL 0952-98-0120

きりん新聞編集局

新型コロナワクチン接種



● 老健きりんの利用者様、職員ともに全員1回目の新型コロナワクチン接種を何事もなく完了いたしました。順次、2回目の接種もおこなっております。

● グループホームきりんの利用者様、職員ともに1回目の接種を順次おこなっております。

● 木下医院では、65歳以上のワクチン接種もおこなっておりますので、ご希望の方はコロナワクチン専用ダイヤルにてご予約をお願いいたします。

予約専用ダイヤル

受付時間 10時～13時、14時～17時

☎080・8842・2174



新任医師紹介

新任の医師よりひとこといただきました。

「4月より木下医院に着任いたしました堤信と申します。アレルギーを専門としております。アレルギー疾患をお持ち方は多く、お役に立てるのではと思っております。

一般診療とともに力を入れてまいりますのでどうぞよろしくお願ひします。」

新人職員紹介

4月からグループホームきりんにも新しい職員が増えました。皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。

☆杉町 優月☆
ゆづき

所属・グループホーム 介護職員
「利用者の皆様に信頼してもらえ
るような介護福祉士になりたいです。」



紫陽花の壁飾り

グループホームきりんでは折り紙で紫陽花を作りました。小さな花がたくさん集まった紫陽花作りはとても根気のいる作業です。皆様、真剣な眼差しで作業に取り組まれ、時折ふくつと息を大きく吐かれお互いに顔を見あわせ、笑顔になられていました。

色とりどりの丹精込めて出来上がった紫陽花はグループホーム内の壁に優しい花を咲かせてくれています。

大螢ゆらゆらと通る

小林一茶の有名な俳句のひとつですが、小川の祇園川に今年も優しい光をまとい、ホタルがお目見えです。ジメジメとした梅雨の憂鬱な夜に、淡いホタルの光を見つけると一気に気持ちが和みますね。

そんな螢ですが、一生のほとんどを水と土の中で過ごし、1年程かけて成虫になり、ようやく飛び立ちます。

私たちの目を楽しませてくれる螢の幻想的な光、その光り方は地域によって異なり、西日本は2秒に1回、東日本は4秒に1回点滅するそうです。

面白いと思う反面、成虫になつてからは何も食べることなく1～2週間程で生涯を終えると思うと、なんとも儚く感じます。

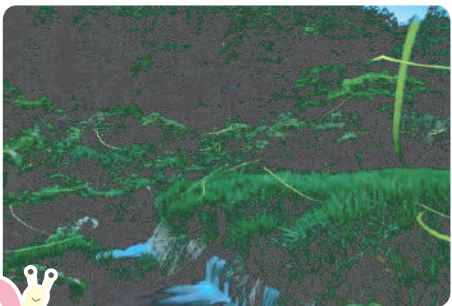
茶畑

脊振山の山麓、吉野ヶ里町に日本茶樹栽培の発祥の地があります。

建久二年（一一九二年）に栄西禅師が留学していた中国から茶種を持ち帰り、靈仙寺の庭に播いて栽培し、その製法をもたりました。これが日本最初の茶樹栽培となりました。

今も山裾一面に緑の茶畑が広がっています。

こんな場所でお茶を飲みながら、ほっと一息つきたいですね。



きりん職員 仁井広明撮影

